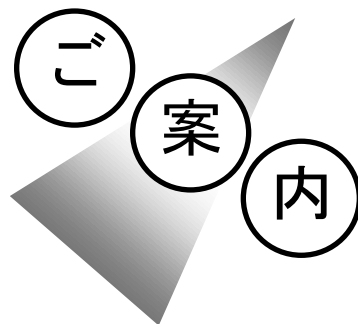


# ★ 第11回学童保育 指導員専門性研究大会



学童保育指導員の専門性を探究し、社会へ発信してきた「学童保育指導員専門性研究会」（「専門研」）（2000年4月発足）は2013年4月、一般社団法人「日本学童保育士協会」（「学保士協会」）へ移行、引き続き指導員の専門性を探求する各種研究会の継続・発展と、新たに「学童保育士・基礎」と「学童保育士」の資格認定履修講座をスタートさせています。

学童保育指導員は子どもの生活・発達を保障するために、保育計画を作成し、子どもたちの願いに寄り添いながら文化的で豊かな「あそびと生活」を、日々の学童保育の取り組みの中でつくりだそうとしています。子どもたちに安心できる生活、成長と発達を保障する上での学童保育指導員の役割は大きく、指導員は自らの専門性を高め、学童保育実践を深める必要があります。そのためには、指導員の研修や実践の理論化は欠かすことのできない課題です。「専門研」を引き継いだ一般社団法人「学保士協会」がすすめる各種研究会の充実や新たに発足した「資格認定履修講座」は、指導員が自らの専門性を明らかにし、それを向上させる場です。毎年、開催してきた「学童保育指導員専門性研究大会」もそのひとつです。今年度は11年を迎えます。

2015年度実施した「子ども・子育て支援新制度」（以下「新制度」）は、学童保育指導員を「放課後児童支援員」として、16科目24時間の都道府県の研修が義務付けられ、一斉に認定研修が実施されています。しかし、その研修内容は、指導員の専門性を担保していくような内容にはあまりにも不十分な内容になっています。私たちが明らかにしてきた学童保育指導員の専門性と、それにもとづく資格内容とはかけ離れたものです。国に公的資格を求めながらその実現を目指す方個性について探求していくことが求められています。

第11回学童保育指導員専門性研究大会の開催は、指導員の専門性を高めていく研究の場としていくとともに、広く社会に発信し、社会的合意としていくためのものです。

今研究大会に全国から多数、参加されますようご案内いたします。

大会委員長 植田 章（佛教大学）  
事務局長 二宮 衆一（和歌山大学）

開催日 2016年1月31日（日）

午前 10:00～12:00 全体会

午後 13:00～16:30 テーマ別研究会

場 所 京都教育大学（詳細は裏面）

主 催： 一般社団法人 日本学童保育士協会

〒542-0012 大阪府中央区谷町7丁目2-2-202

TEL 06-6763-4381 FAX 06-6763-3593

ホームページ <http://gakudouhoiku.org/>

# ★ 第11回学童保育 指導員専門性研究大会

2016年1月31日(日) 10:00~16:30

午前の部 10:00~12:00

大会委員長あいさつ

基調提案

◆ 全体講演 テーマ 「公的資格をめざして」(敬称略)

● 「指導員の専門性と資格を考える」 石橋 潔 (久留米大学)

● 「指導員の資格研究の到達と今後の課題」 奥野 隆一 (佛教大学)

## 午 後 の プ ロ グ ラ ム

(敬称略) 13:00~16:30

### 研究テーマ1 学童保育の生活とあそび

運営委員 加用文男(京都教育大学)、札内敏朗(大阪/指導員)、  
谷口研二(京都/指導員)

あそびは学童期の子どもの成長・発達にとって、とても大切な活動であり、学童保育の生活の大きな柱です。具体的なあそび事例の報告をもとに、子どもたちがルールを工夫し発展させながら展開してきた「あそびの実践」を深め合います。討論の中でも、ルールのある遊びをめぐる、交流し学び合っていきます。

### 研究テーマ2 学童保育における子育て・家族支援

運営委員 中野加奈子(京都大谷大学)、森岡恵治(大阪/指導員)  
館 優子(大阪/指導員)

子どもの成長・発達を保障していこうとする時、子どもとその家族をどう理解し、働きかけていくのか。学童保育での生活を通して、保護者や子どもの抱えている様々な問題も見えてきます。実践検討をとおして、支援のポイントをおさえ、指導員の仕事としての家族支援・子育て支援について深め合います。

### 研究テーマ3 障害のある子どもと 学童保育の生活づくり

運営委員 野村 朋(大阪健康福祉短大)、  
竹中真美(滋賀/指導員)、中尾光恵(大阪/指導員)

現在、多くの学童保育に障害のある子どもが在籍しており、一人ひとり、多様な姿を見せています。指導員が障害のあるその子を正しく理解し、周りの子どもたちと繋ぎながら、その子のねがいや要求が反映されるよう集団づくりをすすめていく必要があります。そのための手立てや保育について、実践レポートをもとに検討・交流し、深めていきます。

### 研究テーマ4 学童保育における 生活と集団づくり

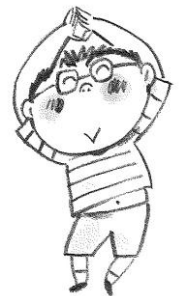
運営委員 船越 勝(和歌山大学)、村上晶代(石川/指導員)  
川崎みゆき(大阪/指導員)

子ども一人ひとりに居場所があるか、互いに成長し合える関係がつかれるか、自治的な集団とは、といった視点で実践検討をします。子どもの状況や思いを捉え、子どもと指導員、子ども同士の関わりについて、実践検討を通して考えます。

### 研究テーマ5 指導員の職員集団とチームワーク

運営委員 長瀬美子(大阪大谷大学)、森 徹(京都/指導員)、  
久保河内実穂(兵庫/指導員)

「よりよい保育を追求するためにはチームワークの構築が不可欠」として長瀬氏より、チームワークづくりの視点や方法について基調提案を受け、具体例や各所の状況を出し合い検討しました。前回の論点を踏まえて今回はさらに深く議論を行い、チームワーク力を保育に発揮できる指導員の職員集団づくりについて考えます。



シンポジウム

## 高学年の学童保育の生活を考える

シンポジスト 学童保育指導員 教師の立場から報告予定

コーディネーター 福田 敦志(大阪教育大学)

児童福祉法の改定で、学童保育の対象学年が小学生になり、高学年の学童保育が可能になりました。高学年の特徴も踏まえながらこれまで、高学年も含めた学童保育の生活を実践、学校現場での高学年の姿等を通して、高学年の学童保育の生活の内容について深め合います。

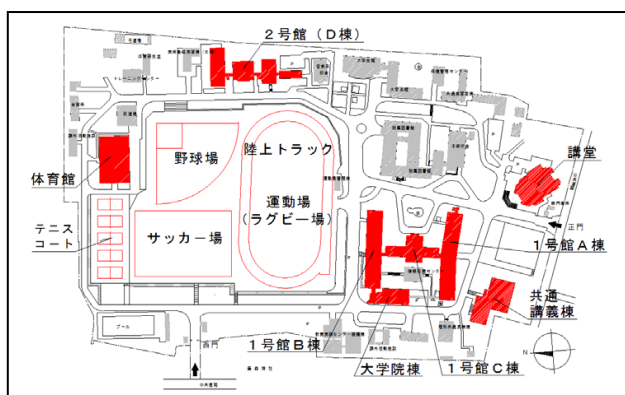
日時 2016年1月31日(日) 10:00~16:30

(受付開始時間 午前9:30~、午後12:30~)

会場 京都教育大学

参加費 会員 1,500円 非会員 3,000円 学生 1,000円

(参加費は当日精算でお願いします。当日入会手続きできます)



交通アクセス



午前全体会 共通講義棟  
午後 1号館B棟・C棟

協会に入会を!

一般社団法人「日本学童保育士協会」では、集団づくり研や家族支援研など様々な研究会を展開しつつ、「資格認定履修講座」の全国展開をめざしています。会員による支部活動も積極的にとりくんでいます。ぜひ、入会を!

京都教育大学へのアクセス

JR京都駅~JR藤森駅下車 徒歩3分  
京阪本線 墨染駅下車 徒歩約4分

## 第11回学童保育指導員専門性研究大会参加申込書

No.	氏名 (ふりがな)	連絡先	自宅 ( ) 職場 ( ) 携帯 ( )	— — —
住所 〒	いずれかに○印 ・入会希望 ・会員 ・非会員	指導員 ( ) 研究者 保護者 専従 児童館職員 自治体職員 議員 教師 学生	市区町村)	
午後の希望研究テーマ	1 2 3 4 5 シンポ	その他 ( )		

※ できるだけ事前にお申し込み頂きますようご協力をお願いします。もちろん当日参加もできます。また各テーマは定員になり次第、締め切りますのでご了承ください。

※ 支部のあるところは、支部で取りまとめをお願いします。(お申し込み・お問い合わせ先: 表紙下)